

「ガスビル保存検討委員会」検討状況について
～ガスビルの歴史的価値の継承と活用の基本的な方向性～

2022年6月15日
大阪ガス株式会社
大阪ガス都市開発株式会社

大阪ガス株式会社（社長：藤原 正隆）および大阪ガス都市開発株式会社（社長：友田 泰弘）は、2022年4月26日発表^{*}のとおり、当社グループ社有地での複合ビル開発と、大阪ガスビルディング（以下、「ガスビル」）のリノベーションについて検討しております。

※2022年4月26日発表「ガスビル西側での複合ビル開発とガスビルのリノベーションの検討開始について」ご参照

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2022/1306111_49634.html

ガスビルは、南館（1933年竣工）が国の登録有形文化財に登録されるなど、歴史的価値を高く評価いただいております。リノベーションの検討においては、その歴史的価値の継承を念頭に「ガスビル保存検討委員会」を設け、学識経験者からのご意見を伺い、保存と今後の活用のあり方を検討してまいりました。

今般、当委員会において、基本的な方向性がまとまりましたので、お知らせいたします。この方向性に基づき、今後具体的な検討を進めてまいります。

<基本的な方向性>

- ・ 歴史的価値の高い南館・北館一体的な外観構成および竣工当時の趣を残す内部を基本的に保存する。
- ・ ガスビルは、より多くの市民の方にご利用いただけるよう、現状の自社ビル用途から、にぎわい施設や賃貸オフィスとして用途変更する。

詳細は、以下の添付ファイルをご参照願います。

[「ガスビル保存検討委員会」検討詳細](#)

以上